

委 員 会 報 告

原子力対策 特別委員会

令和3年6月22日に委員会を開催し、原子力規制庁浜岡原子力規制事務所及び中部電力(株)より報告を受けました。また、「浜岡原子力発電所立地の申し入れから50年のあゆみ」のDVDを視聴しました。

〔原子力規制検査の概要及び実施結果について〕

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を契機に、事故の教訓に学び、その反省に基づき環境省の外局として、政治から独立した委員会として原子力規制委員会が発足。実用炉監視部門のもとに浜岡原子力規制事務所が、地方駐在事務所として日々、事業者の行う安全活動を監視しています。

浜岡原子力発電所への令和2年度の原子力規制検査は4回行われ、第4四半期の検査



「浜岡原子力発電所立地の申し入れから50年のあゆみ」のDVD

で核物質防護事案(深刻度の評価としては1番低く影響は限定的、シビアリテイレベル(SL-IV))を検出しました。これについては事業者で速やかに是正して現在では解消されています。

〔原子燃料サイクルについて〕

原子燃料サイクルとは、発電所で使用して使用済みとなった燃料をリサイクルして再利用する一連の流れをいいます。原子力発電所で使い終わった使用済み燃料にはまだ使用できるプルトニウムやウランが約97%残っており、再利用できるプルトニウムなどをMOX燃料として発

電所で利用します。エネルギー資源供給率に乏しい日本としては、将来にわたってエネルギー資源を確保していくために、原子燃料サイクルは不可欠です。

再処理工場、MOX燃料加工工場は、青森県六ヶ所村にあります。

浜岡3〜5号機の使用済燃料プールは、最大貯蔵容量の約90%近くの使用済燃料が入っています。ひとつの号機が1年運転しますと、大体150体ぐらいの使用済燃料が発生します。

燃料プールで10年以上冷やされた使用済燃料を再処理工場に搬出するまでの間、金属キャスクと呼ばれる容器に入れて、空気の自然対流で冷やしながらか貯蔵する施設を使用済燃料乾式貯蔵施設と呼び、2015年に設置許可変更申請を行って、現在審査を進めているところです。

総合開発計画策定 特別委員会

令和3年6月22日に委員会を開催し、付託された議案第43号工事請負契約の変更について(御前崎市立浜岡中学校校舎改築工事)及

び、議案第44号工事請負契約の変更について(御前崎市新学校給食センター建設工事(建築主体工事))の2議案について審議し、原案の通り可決しました。

議案第43号については、当初の契約の中に含まれるグラウンド整備内容の地ならしのほかに、ネットの高さの変更、南側フェンスの老朽化が激しいため撤去、グラウンドへの緊急車両の乗り入れとバリアフリー化のためのスロープを追加、既存ピッチング練習場の撤去新設などの変更契約の説明がありました。

また、報告事項として第2次総合計画(実施計画)について報告を受けました。



御前崎市新学校給食センター